

2023 年度

国府台女子学院 中学部

第一回入試

国 語 (50 分)

【注 意】

1. この問題は、「始め」の合図があるまで開いてはいけません。
2. **受験番号**は解答用紙の決められたところにはっきりと書いてください。
3. 問題を読むときに、声を出してはいけません。
4. 印刷が不鮮明ふせんめいでわからない場合や、その他わからないことがあった場合には、だまって手をあげ、先生にたずねてください。
5. **答えは、すべて別紙解答用紙に記入してください。**

注意Ⅱ句読点や記号もそれぞれ一字と数えます。

□ 次の各問題に答えなさい。

問一 次の①～⑤の——線部のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えなさい。

- ① 混乱を広げないよう可能な限りのシユウソクをはかる。
- ② 物語の結末をアンにほめかす。
- ③ ヨウシユンの候。
- ④ 主役に選ばれ、ボウガイの喜びだ。
- ⑤ 今度の試合もきつと何の造作もなく勝つだろう。

問二 次の( )に当てはまる最も適切な語を、あとのア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

まるで腫れ物にさわるような( )だ。

- ア 扱い      イ 動き      ウ 触れあい      エ 関わり

問三 次の文で説明された「野菜」の名前をひらがなで答えなさい。

ウリ科の植物の一種。夏野菜だが、秋から冬にかけて旬をむかえ、冬至には欠かせない食べものである。諸説あるが、名はカンボジアに由来しており、日本へは南蛮(特にポルトガル)から渡来したといわれている。

問四 「さける」と「よける」は同じような意味で使われているように思われますが、厳密には違いがあります。次の①～③の例文は「さける」を

使うほうが自然である文、④～⑥の例文は「よける」を使うほうが自然である文です。これらの文の違いを考えた場合、◎の文の( )にはどちらの語を使うのが自然ですか。あとの記号で答えなさい。

- ① リスクをさけて行動できることが成功への第一歩だ。
  - ② 彼は山奥にこもり、人目をさけて生活している。
  - ③ はじめは苦手な問題はさけて、易しい問題から解こう。
  - ④ 目の前に転がってきたボールをよけて歩き続けた。
  - ⑤ あなたの嫌いなにんじんはよけてあるから、残さず食べなさい。
  - ⑥ あの落下物をよけていなければ、今ごろ負傷していただろう。
- ◎ 出荷の前に、不良品は( )おく。

ア 「さけて」を用いるほうが自然である。  
イ 「よけて」を用いるほうが自然である。

問五 「英」という漢字が持つ意味としてあてはまらないものをあとのア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

- ア イギリス      イ 花      ウ 絵画      エ 名誉

問六 次の——線部のうち、どちらの使い方が正しいか。正しい方の記号を答えなさい。

- ア 目の前に広がるダイナミックな山々の景色に感動した。  
イ ダンスの大会でダイナミックな演技を披露する。

問七 矢印の向きに従って読むと二字熟語ができるように、□に当てはまる漢字を答えなさい。

神 ↓ □ ↓ 屋  
快 → □ → 観

□ 次の文章を読み、あとの問いに答えなさい。

問八 □にひらがなを当てはめ、次の意味に対応する言葉を答えなさい。

非常に数が多い。 …… お□□□□い

問九 次の文の□に入る語として最も適当なものをあとのア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

病気の母を心配して□看病する娘。

ア うやうやしく      イ つつましく      ウ かいがいしく  
エ やるせなく      オ こころもとなく

問十 次の——線部の表現が正しければ○、間違っていれば正しい表現を答えなさい。

女手一人で私を育ててくれた母。

問十一 「なけなし」という言葉を使って二十字以上三十字以内で短文を作りなさい。話を通じれば主語がなくてもかまいません。

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

※著作権処理中です

(朝比奈あすか『人間タワー』 文藝春秋社)

問一 波線 a ~ f のカタカナは漢字に直し、漢字は読みをひらがなで答えな  
い。

問二 ——線部①「母に何度も言われたことだ」とありますが、この母に対  
する滯の想いが想像できる行動を具体的に表した五十字以上六十字以内  
の一文をこれより前の部分から探し、初めの五字を書き抜きなさい。

問三 ——線部②「特別なもの」とあるが、滯の考える「特別」とはどうい  
うことか。それを説明した次の文の [ ] に、本文中より書き抜いた  
漢字三字の適語を入れなさい。

偏差値の高い学校に合格し、多くの [ ] を持つ人になること。

問四 [A] ~ [D] に入る会話文としてもっとも適当なものを次から選  
び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 青木くん、なんで反対意見を帰りの会で言わなかったの  
イ 青木くん、タワー練習の最後に手を挙げてたよね。反対意見言おう  
としてたんでしょ

ウ 青木くん、タワー練習の最後に手を挙げてたよね。賛成意見言おう  
としてたんでしょ

エ 反対に手を挙げてたよね

オ 賛成に手を挙げてたよね

カ 俺も反対した

キ 俺も賛成した

ク 青木くんはなんで賛成意見なの

ケ 青木くんはなんで反対意見なの

コ 安田さんはなんで賛成意見なの

問五 [3] に入る慣用句としてもっとも適当なものを次のア~エから一  
つ選び、記号で答えなさい。

ア 目を見張る      イ 胸を張る

ウ 腕を磨く      エ 肩を怒らせる

問六 ——線部④「『悪い言葉』」にはなぜ「かきかっこ」がついているのか。  
それを説明した次の文の空欄の指示に合った適語を書いて答えなさい。

ここでは、ただの悪い言葉というよりも、特に（五字以内の書き抜き）

に則<sup>のっと</sup>った規則で決められている悪い言葉を指すため。

しつけて平気でサボること。

問七 —— 線部⑤「ほほえましく感じた」とありますが、滯は青木のことをどのような人物と感じているでしょうか。もつとも適当なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 見かけは大人びていて何でも分かったような口をきくが、多くの経験を積んでいるわけではなく、親の言うことに従<sup>じゆうしゆん</sup>順な人物。

イ 自分の意見を持っているように見えても、実は母親の意見に支配されていることに気づかないおっとりした人物。

ウ 勉強ができて心に余裕<sup>よゆう</sup>があるため、物事にこだわりがなく誰に対しても屈<sup>くつた</sup>託なく接することができる人物。

エ 自分で多くの経験を積んでいない事実から目を背け、知った風な口をきいて実力以上に自分を大きく見せようとする人物。

問八 —— 線部⑥「解き放たれた獣<sup>けもの</sup>みたいな子どもたち」の残酷<sup>ざんく</sup>な行動として滯が思い浮かべていることに当てはまらないものを、次のア～エより一つ選び、記号で答えなさい。

ア カースト制がはっきりしていて、誰かを傷つけることを喜ぶような子がそのトップに立つこと。

イ 先生の言うことを聞かず、授業中に歩き回ったりテスト用紙をまるめて投げたりすること。

ウ 常にいじめる対象を探している子の目から隠<sup>かく</sup>れ続け、クラスのいじめを見て見ぬふりすること。

エ 掃除の時間に、自分が与えられている仕事をせず、それを誰かに押

問九 —— 線部⑦「熱しやすく単純な男子」に当てはまる人物は次のうちどれか。当てはまる人物をすべて記号で答えなさい。

ア 出畑      イ 国貞      ウ 近藤      エ 青木

問十 I      IV に当てはまる語の組み合わせとしてもつとも適当なものを次から一つ選び、ア～エの記号で答えなさい。

ア I 主観	II 客観	III 状況	IV 具体
イ I 主観	II 客観	III 肉体	IV 精神
ウ I 現象	II 主観	III 根源	IV 精神
エ I 肉体	II 精神	III 主観	IV 客観

問十一 8 に入る内容としてもつとも適切な箇所<sup>かしよ</sup>を本文中より探し、八字で抜き出して答えなさい。

問十二 —— 線部⑨「今はただ、母のすごさに気<sup>け</sup>圧<sup>お</sup>されている」とありますが、「滯の母」は本文の中でどんな人物として描<sup>えが</sup>かれていますか。次から適切ではないものを二つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分とその家族が周囲から馬鹿<sup>ばか</sup>にされるような状況に陥<sup>おち</sup>ると気持ち不安定になってしまっほど視野<sup>せま</sup>が狭く、実は心に余裕<sup>よゆう</sup>がないが、そのことに自身が気づいていない。

イ 自分の正当性を信じ、それにそぐわないものを柔軟<sup>じゅうなん</sup>に受け容れるこ

とができないために、結局、思うようにならない対象を攻撃し、周囲からは面倒な人と見られがちだ。

ウ 学歴や職業などの自身の肩書きが社会的な意味を持つと信じ、その外面的な肩書きに頼らざるをえない自分を自覚しているために、それをひけらかすことに余念がない。

エ 教育熱心で、娘に惜しみない愛情を注いでおり、自分なりに娘を支えるため、場合によっては学校や塾ともひるむことなく戦う姿勢がある。

オ 手作りの食事を用意したり、学校帰りの娘を心配してメッセージを送ったりと、自分がどんなに忙しくても手を抜かず、仕事も子育ても完璧であり続けようとする。

カ 母（滯の祖母）が自分にしてきたことをそのまま受け継いで子どもに向き合っており、今のように子どもを守り支配することが悪いとは思っていない。

問十三 この文章の主人公「滯」について、A～Eの五人の生徒が話し合っています。本文から読みとれる内容として、適切ではないものを一つ選び、A～Eの記号で答えなさい。

A 私は滯がかわいそうだと思ったわ。子供を通して自分の願望を実現させようとしている母親と毎日向き合わなければならぬなんてね。しかも母親は滯の気持ちを理解しようともせずに自分の価値観で突っ走る。こういうのを毒親っていうのかもしれないわ。

B 確かに。でも滯はそんな母親を客観視できているところがすごいよね。そんな母に完全に毒されてエネルギーを奪われてしまう子も多いだろうに、冷めた目で、どこか母を憐れんで見ているところもあるみ

たい。「母の立つその場所は脆い」とか、母の書いた手紙を「滑稽で痛々しい」とか。

C そうかな。私は滯もまあ母に毒されているような気がする。滯は人の立場を上とか下とかで意識する感覚が強そうだし、自分が下で支える人間の側になってもいいとは思っていない。学校や同級生のことも何気なく上からの視点で冷静に分析しているところとかね。

D そうよね、塾でも真ん中のクラスなのに、上位にいる青木のことを上から見ているところがあるよね。母をとて憎んでいるのに、母の期待に応えようとしているし、滯は本当の自分自身の気持ちや実力に気がつかず、現実がわかっていないよね。それにとてプライドが高い。

E なるほど。人間タワーについての学級での話し合いでもみんなの前で反対意見を言わないし、先生にも嫌われたくないと考えているよね。自分の立場を守ろうとしていたり、なかなか難しい子かも。でも幼少期には絶対的な存在だった母親を様々な視点から疑いだしたところに、滯の心の成長があるんじゃないかな。

